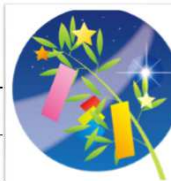


(季節ごよみ) 7日(小暑)・25日(土用の丑)・23日(大暑) (社会行事) 17日 海の日
(地域行事) 16日(日)ハイツ夏祭りハイツ中央公園広場<雨天順延17日(月)>

(L・L俳句) 梵鐘の音も遠ざかる 梅雨の宵 (主水介)
親よりも 威風堂々 今年竹 (たたえ)
どくだみの 八重を求めて 境川 (益之助)



六月誕生の皆さん

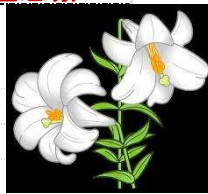


《季節の風物詩》

梅雨が明け、本格的に暑い夏の季節に。
海開き、山開きがあり海水浴客や登山客で

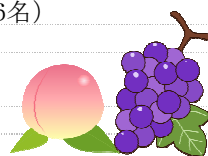
賑わう。下旬には多くの子供たちが夏休みとなり、夏の行楽シーズンに突入する。土用の丑(25日)にはウナギを食べて体力回復を!

「7月の誕生花」 <ゆり> 花言葉 ★ 純血・威厳



7月の行事

役員会	18日	(火)	10時30分～	第1集会所 2F-C
月例会	20日	(木)	13時30分～15時	第1集会所
民踊	6日	(木)	13時～15時	第1集会所 2F-C
書道教室	4日 11日 18日	(火)	15時～17時	第1集会所 洋室
カラオケ	3日 31日	(月)	14時～16時	第2集会所 洋室
ゲートボール	毎週	(月) (金)	8時～10時	第1公園内
グラウンドゴルフ	毎週	(火) (水) (木)	8時～11時	第1公園内 ほか
スポーツ吹矢	7日 13日 21日 28日	(金) (木) (金)	13時～16時	第1集会所 洋室
除草清掃	2日	(日)	07時～	第1公園内



桃5個のお土産付

『6月例会』

日時 6月15日(13時30分～15時)
場所 第1集会所
出席者 37名(男 21名 女 16名)
5月誕生者 5名に祝品を贈呈。

1. 開会宣言(柳沢副会長)
2. 会長挨拶・報告(鈴木会長)
 - a. 大正地区老人会関係
野球観戦(8月16日)の申し込み受付を鈴木会長が行う。友愛活動は全員の活動です。一緒にやりましょう。
 - b. 自治会関係(7月6日夏祭り関係)
自治会夏祭りが7月16日に行われます。当クラブは、例年通りお赤飯等を販売します。予約受付に、ご協力をお願いします。
 - c. その他(バス旅行の計画等) = 9月5日(火)予定: 御殿場、秩父宮記念公園他
バス旅行を計画しており参加者募集します。40人の参加者でバスが来ます。旅行代金は8月例会(暑気払い)時に徴収します。
3. 6月誕生者のお祝い(対象者:5名) = 皆様欠席の中、芹沢さん奥様がご出席され代理でお祝い品を受けられた。「ハッピーバースデー」ピアノ伴奏は、鈴木健之さんで、2回繰り返す。
4. 岸田理事による「健康の話と心のび体操」
5. 乾杯(織田村監事のご発声で)
6. 井関理事の「ワア・ハア・ハア～運動」を実施
7. じゃんけんゲーム(1～3名に鈴木会長より賞品を寄贈)
8. 民謡サークルと皆さんで輪踊り・盆踊り(炭坑節、東京音頭、区民ばやし)
9. 参加者全員での合唱(ピアノ伴奏:鈴木健之さん) *北上夜曲を男女別にパートを歌い好評であった。
10. 3本締め(中川副会長)

○ 6月 1日現在 会員数 77名 (男 41名・女 36名)

『7月例会』

日時 7月20日(木) 13時30分～15時
場所 第1集会所
7月誕生者 8名の方に祝品を贈呈

祝『おめでとうございます!』



織田村佳之さん(米寿)・町田キミ子さん・二塚まき子さん
井関 明さん(喜寿)・岸田淳子さん(喜寿)・野間壽恵さん
芹沢いち子さん・下平雅子さん(古稀)
内、織田村さん(米寿)、井関さん(喜寿)、岸田さん(喜寿)にはお祝い金を贈呈します。

エル・エル・クラブ



16日 県ドリームハイツ夏祭り開催!

エル・エル・クラブは夜店に参加出店します。
サブレ、お赤飯、みたらし団子を販売します。
会員の皆様の購入、販売のご協力をお待ちしております。 役員・担当者一同



(会員投稿) 《あの日のグルメ part-II》 昭和28年の幻

国民学校5年から2年、夢も少しは持ったが、野球タタの毎日が続いた中学、高校の6年間を経て花の都へとやって来た私、世田谷は上町の廃業した病院跡に下宿を構えここから4年間の学生生活を踏み出したのだが時まさに餃子、湯麺、八宝菜など中華グルメの夜明けの時代 通学の合間に三軒茶屋、渋谷で当時流行りの餃子舗や百軒店のムールギーカレー、ジャズ喫茶にのめり込んでいた。特に 渋谷の「恋文横丁」(終戦後の進駐軍のオンリー達が、帰国した米兵に出す手紙の代書屋が並んでいた所から こう呼ばれた道玄坂下の一角)は学生たちで賑わい 時にプロ野球選手の姿も見かけたことがあった。そしてこの界限に出入りするのが 今で云う「ナウイ」輩だったらしい。湯麺、炒麺、餃子、炒飯 ¥50・八宝菜¥150 と云う 良き時代だった! 酒は専ら「白乾児(パイカル)」なる安酒を喰らっていた。余談だが この時代の渋谷は かの有名な 安藤昇氏率いる「安藤組」の全盛時代 その世界の伝説の人、花形 敬なども闊歩していた筈だが 宇田川町・大和町など歓楽街のバー・飲み屋等でも 不思議な事に、その筋の人を一度も見かけたことがなかった。こんな学生で 勉強より専ら 花の都の《食》に憑りつかれ《学食》などには、ついぞ足を踏み入れた記憶は無い……



……私には今の渋谷は 想像もつかないが?